



サザンクロス

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構は、
高度技術産業の集積による新事業創出を導く、
東北のサザンクロス(南十字星)となることを目指します。

●編集発行

公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

〒963-0115 福島県郡山市南2丁目52番地 ビッグパレットふくしま3階
TEL (024) 947-4400 FAX (024) 947-4475

郡山地域テクノポリス推進機構 紹介

- 郡山地域テクノポリス推進機構
～ものづくり企業を応援します～P02

新事業創出育成

- 起業化支援
ものづくりインキュベーションセンターの設置・運営P03
- 新製品開発から事業化までを支援
1 平成30年度 各種助成事業募集のお知らせP04
2 日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)
郡山サテライトの開設P04

人材育成・研究開発促進

- 産学官連携による人材育成
「Meister's College(マイスターズ・カレッジ) 2017」P05
ちびっ子マイスターズ・カレッジ2017
コンクリート探検隊!P06
中学生向け医工連携人材育成事業
“医療の道を歩む、未来への第一歩”P06
- 研究開発・事業化支援
平成29年度 産学連携コーディネート業務P07
福島県再生可能エネルギー次世代技術開発事業
(平成25年度～27年度)P07

起業家育成・起業化支援

- 企業連携の促進
郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議P08
研究開発推進部会
— 2フォーラムの開催 —P10
須賀川方部アドホック研究会P11
- ICTを核とした産業の振興
郡山オープンイノベーション(KOI)会議P11
- 受発注機会の創出
郡山地域ものづくり受発注商談会P11
ICTを活用した商談会(Linkers)P11

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

- ICT交流事業P12
- 情報化人材育成・研修事業P12
- ICT高度利用推進事業P13
- 総会・監査会・ボードメンバー会議P13
- 平成30年度の主な事業・イベントP13

イベントへの出展 P13

テクノインフォメーション

- 平成29年度 理事会等の開催報告P14
- 平成30年度の主な事業・イベントP14
- 役員・職員等の紹介P15

こあいさつ

「連携を一層支援します」

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 理事長 滝田康雄 P01

連携を一層支援します

公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構

理事長 滝田 康雄



東日本大震災及び原子力災害から7年が経過し、当地域では、産総研「福島再生可能エネルギー研究所」をはじめ「ふくしま医療機器開発支援センター」など新しい産業の創出につながる研究機関、産業支援機関が開所し、さらに、「工業団地の造成」や「新駅の設置」、「スマートインターチェンジの整備」等、インフラや交通体系の整備も進められ、これまで以上に「ヒト、モノ、カネ、情報、技術」の交流結節点となり、新事業・新産業創出の適地として本県を牽引する地域として期待されております。

当機構の設立原点は「ものづくり企業への支援を通じた福島県産業の振興」であり、今年度も当機構の特徴、強みを活かして積極的に事業を展開して参ります。

一つには、「郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター」を核とした起業支援です。

平成18年に日本大学工学部の敷地内に設置以来多くの企業に、新製品開発や新分野進出のためにご利用いただいております。現在の入居企業は、輸送用機器や医療機器、ICT関連の企業など9社となっております。

本施設は「ものづくり関連企業」に特化したインキュベーション機能を有し、大学等と連携し新製品の研究開発をする『場』、試作品づくりのための『設備』、経営・技術面からの『人材』、そして、研究開発の成果を広く発表する『機会』を提供し、企業支援を積極的に図ってまいります。

二つには、技術コーディネーターによる支援です。

大手、中小製造業経験者による現場感覚の支援が企業訪問件数の増加につながり、受発注案件などの

様々な相談や、企業と大学等との連携、企業と企業の具体的連携案件も進展するなど、大きな強みを発揮しております。今後も、関係機関と連携しマンパワーを活かした支援に力を注いでまいります。

三つには、産学金官連携による支援です。

連携の実を上げるには、そのとりまとめ役となる存在が必要です。

「新事業創出」や「人材育成・研究開発促進」、「起業化支援」などの業務推進にあたって、連携のとりまとめを率先して担うことで、様々な案件が着実に進展するよう努めてまいります。

また、今年度の新規事業としてのロボット産業振興についても申し上げます。

昨年度はセミナーの開催や人材育成の業務を行いました。今年度は、ものづくりインキュベーションセンターの一室を活用し、産業用ロボット実機を数種展示し、生産現場の省力化等を検討している企業に、より具体的な相談に応じられるような企画内容を計画しております。大きな課題である労働力不足解決の一助として、ロボットをどう活用できるかに取り組んで参りますので、関係の皆様のご協力をお願いいたします。

当機構の運営は、基本財産運用益の活用が基本になりますが、今後とも厳しい状況が予想されます。選択と集中による効率的組織運営は勿論のこと、関係機関の企業支援策も活用させていただきながら、産業界から必要とされる機構であり続けるための仕事をいたしますので、関係の皆様のお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

郡山地域テクノポリス推進機構 ～ものづくり企業を応援します～

こんな考えをお持ちの企業の皆様、是非当機構をご利用ください。

新分野に挑戦したい

技術相談をしたい

人材の育成をしたい

取引を拡げたい

など

沿革

1986年(昭和61年)3月に、福島県、テクノポリス圏域6市町村(郡山市、須賀川市、鏡石町、玉川村、石川町、三春町)、圏域企業の基金造成(約15億円)により設立。

平成30年度の主な事業

ものづくりインキュベーションセンター運営(新事業創出育成事業)

重点事項

(1) 研究開発の

「場」・「設備」・「機会」・「人材」

による支援

※入居企業9社(平成30年4月現在)

P3



人材育成・研究開発促進(技術振興事業)

重点事項

(1) 産学官連携による人材育成

P5~6

① マイスターズ・カレッジ(企業在職者向けものづくり人材育成)

講師: 日本大学工学部、県立テクノアカデミー郡山 他

② 小中学生向けマイスターズ・カレッジ

(2) 研究開発・事業化支援

P7

① 技術コーディネーターによる企業訪問、技術相談、連携促進

② 大学や産業支援機関等との連携



起業化支援(地域技術起業化推進事業)

重点事項

(1) アライアンス(企業連携)の促進

P8

① 研究開発推進のための3フォーラム*の運営

(コーディネーター: 日本大学工学部教授)

※サステナブル地域づくりフォーラム、

健康医療福祉産業創生フォーラム、

ロボットテクノロジーフォーラム

(イノベーションテクノロジーフォーラムを進化)

(2) ICTを核とした産業振興

P11

① 郡山オープンイノベーション会議

(会津大学、郡山市、当機構の三者連携協定)



新規事業

ロボットラボの開催

郡山テクノポリス戦略的アライアンス形成会議事業として、企業の生産性向上のため製造ライン等へのロボット導入検討の一助に、ロボット実機展示による相談の場を設ける。

【日程】平成30年 8月28日(火)から9月28日(金)

【場所】ものづくりインキュベーションセンター



広報

機関誌「サザンクロス」(年1回)、テクノポリスだより(毎月発行)

ウェブサイト、メールマガジン

各種展示会等への出展



起業化支援

ものづくりインキュベーションセンターの設置・運営



ものづくりインキュベーションセンター建物外観



平成18年8月に、国、福島県、郡山市、日本大学工学部等の助成を受け、「郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター」を日本大学工学部キャンパス内に建設し、その運営・管理と関係機関との連携による起業化、研究開発支援を行っています。

当センターは、“ものづくり”による新たな産業の創出を促進するための支援施設で、企業支援室[11室]のほか、研究開発による試作品を製作するための工作機械を備えた「試作センター」や40人収容可能な「会議室」を設置しています。

支援メニュー

研究開発による新製品の創出、起業化・事業化の成功率を高めるため、試作品等を設計・製作する「場」、試作に必要な基本的「設備」、及び技術のハード/ソフト両面で支援・コーディネートする「人材」、そして入居者による研究開発の成果を広く発表する「機会」を提供します。

場

研究開発の拠点として、低廉な料金で入居でき、24時間365日利用可能な起業支援室[実験室タイプ(2室)/事務室タイプ(9室)]、試作センターや会議室、展示コーナーを設置しています。

設備

「試作センター」には試作品等の製作に必要な各種工作機械や高精度立体加工用マシニングセンタ等を、「会議室」には映像/音響設備等を備えています。

機会

入居者等の研究開発事業の成果を金融機関やマスコミ等に広く周知し、起業化・事業化を支援するための「成果発表会の開催」や「展示コーナー」に成果品展示などの機会を提供します。

人材

- インキュベーションマネージャーによる入居者等への研究開発・事業化支援や、専門家を配置し様々なサポートをハード・ソフトの両面から提供するとともに、郡山地域を中心とした大学の知的財産や産業支援ネットワークを活用して入居者等の要望に応じて、技術シーズの事業化を支援しています。
- 管理員・技術コーディネーターによる当施設の管理、研究開発/技術の起業化に係る支援事業へのコーディネート、研究会やセミナーの開催、大学や公設試験研究機関等の研究者との連携や郡山テクノポリス圏域企業によるアライアンス(企業間連携)形成への支援をします。



起業支援室(実験室タイプ)



起業支援室(事務室タイプ)



試作センター



成果品展示コーナー

展示コーナーのご案内

当施設1階にある「展示コーナー」に、入居企業・卒業企業の研究成果品を展示してありますので、ぜひご覧ください。

MT-LINE レトラクターシステム (株)マイステック	メタン分解装置(改質器) MBESバイオマスガスステーション SAISEI合同会社
安心ひつじ[睡眠センサー] センサーネットワーク用ホームゲートウェイ装置 (株)テレジャパン(卒業企業)	内視鏡下手術用針状把持鉗子 (株)ニチオン(卒業企業)
だんぼっち [ハニリアル材使用 個人用防音室] 神田産業(株) (卒業企業)	手術用バスケットワイヤーカテーテル (株)アイアールメディカル工房(卒業企業) / (株)ウィルファイン(卒業企業)
かため太郎[一液湿気硬化型エポキシ樹脂簡易コンクリート補修材] うめ太郎[削り成形型補修モルタル] オバナヤ・セメントックス(株)(卒業企業)	メカブビューティー[メカブ(和布蕪)サプリメントの錠剤化] 大腸癌自己検査キット (株)メディファム(卒業企業)
生キャラメル [6種類のフレーバー生キャラメル] (株)向山製作所 (卒業企業)	乳がんチェッカー Genius Tone[聴覚感度調整装置とヘッドホン] (株)タウザー研究所 (卒業企業)

入居者紹介(平成30年4月現在)

起業支援 室No.	入居企業名	業種等	本社	入居日	主な研究開発テーマ	会社PR
1	株式会社アスター 代表取締役 本郷 武延	輸送機械関連産業	横手市	平成29年 4月1日	高効率モーターコイルの研究開発	常に新しい発想。常に最上の品質追求。未来を創る企業として、確かな技術と工程管理で高品質の製品をお客様に提供します。
2	株式会社アイアルメディカル工房 代表取締役 河邊 大輔	医療機器製造販売業	郡山市	平成30年 3月1日	血管内治療用カテーテル製造事業	既に特許を取得している2つの革新的技術で、福島発、世界に通用する医療機器の開発を目指します。
3	AT-OS(オット)JAPAN株式会社 代表取締役 木村 哲章	医療用機器製造販売	郡山市	平成30年 9月1日	国産汚物容器洗浄・消毒装置の研究・開発・製造	イタリアデザインと世界に先駆けた急速な少子高齢化に対応した日本品質の製品を世界に展開してまいります。
4	株式会社Social Area Networks 代表取締役 森田 高明	情報サービス業	世田谷区	平成30年 3月1日	「コミュニケーションで繋がるFioT(Feeling Internet of Things)研究開発」LPWAをベースとした機器の研究・設計・開発	町・社会・サークルなどの様々なコミュニティが独自ネットワークを作り、ネットワーク上のサービスを生みだし充実させていくことで、今までに無いイノベーションとなり人々の生活と世の中を豊かにすることを目指します。
5	株式会社マイステック 代表取締役 金井 克也	医療機器製造販売業	郡山市	平成28年 7月11日	脊椎手術用開創器システムの開発から事業化	Made in Japanによる手術器械の開発とブランド化を目指しています。
6	株式会社マルマス 代表取締役 生亀 慎吾	製造業、製造商社	郡山市	平成30年 3月1日	新素材の活用方法の確立と拡大	Made in Fukushimaによる製品の開発。福島県の製造加工技術を絶やすことなく、誇りの持てる商品開発を目指しています。
7	日本大学工学部				産学官連携プロジェクト	
9	株式会社国際情報ネット 代表取締役社長 尾形 廣秋	情報サービス業 (ソフトウェア開発事業)	柏市	平成29年 10月1日	超高齢化社会に向けた介護支援ロボット開発	病院IT支援の実績とノウハウを踏まえて院内患者や高齢者施設などで活躍するロボット開発に努め人とロボットの共生する社会創出実現に頑張ります。
10	水野 睦夫	建設業 (建設資材の販売と施工)	郡山市	平成27年 4月1日	コンクリート等のカビ・バクテリア繁殖防止、劣化を防止する石質改質剤の研究開発及び事業化	今までに無い抗菌剤による石質改質剤の研究・開発・販売に取り組んでいます。
11	SAISEI合同会社 代表社員 増尾 一	製造・サービス業 (バイオマスによるメタン分析装置の開発)	郡山市	平成27年 6月2日	メタン分解装置の商品化に向けての開発	バイオマス等自然エネルギー源の開発に関する分散型電源システムのプロセス及び販売を目指しています。

新製品開発から事業化までを支援

平成30年度 各種助成事業募集のお知らせ

テクノポリス圏域内企業やグループ等の研究開発や起業化の取り組みを支援するため、各種助成事業を設けています。

1 F/S支援事業

研究開発や新事業創出等の成功率を上げるために、開発に着手する前段のフィージビリティスタディ(実現可能性・起業化可能性の調査検討=F/S)を行う場合に経費の一部(助成対象経費の2/3以内で100万円を限度)を助成します。

2 研究開発助成事業

新技術または新製品の開発、生産工程の合理化または製品の高付加価値化、これらに類する技術の高度化に関する研究開発を行う企業、共同研究グループに対して、研究開発に要する経費の一部(助成対象経費の2/3以内で200万円を限度)を助成します。

ただし、再生可能エネルギー、医療福祉機器及びロボットに関する技術高度化に要する研究については300万円を限度とします。

3 地域技術起業化助成事業

技術革新の進展に即応した技術を製品化・商品化するため、その事業に向けて必要な商品開発、情報収集、市場開拓等の事業を行う企業や共同研究グループに対して起業化に要する経費の一部(助成対象経費の2/3以内で300万円を限度)を助成します。

※その他、技術高度化研修助成事業等があります。詳しくは、当機構にお問い合わせください。

平成29年度 助成対象企業

研究開発助成事業

事業実施期間 平成29年12月1日～平成30年5月31日

申請者 林精器製造株式会社
テーマ 生しいたけの階級・等級の自動選別機製作のための研究開発
事業内容 福島県内のしいたけ生産が増加する中で、階級・等級別に選別する熟練した人員確保が難しい中、機械化が望まれています。今回の研究は、生しいたけを画像処理及びティープラーニングを用いて、自動判別ができるかを検証するとともに、自動選別機の機構設計案を作成する。

新製品開発から事業化までを支援

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)郡山サテライトの開設

当機構と日本大学の連携により、郡山地域における知的財産・産官学連携活動を活性化し、日本大学と企業間の共同研究、技術移転等を通じて地域産業の発展・振興に寄与するため、「ものづくりインキュベーションセンター」内に『NUBIC郡山サテライト』を平成19年7月から開設し、地域企業の皆様の技術開発等に係る相談に応じています。(平成29年度実績：8件)

主な
相談内容

- ・日本大学に属する研究者、研究シーズ、知的財産等の紹介、共同研究、技術指導等の斡旋
- ・知的財産制度、その運用等に関する情報提供
- ・研究開発支援制度、産学連携支援制度等の紹介
- ・その他、知的財産・産学連携活動の推進及び地域産業の活性化に資すること

郡山地域をはじめ 県内の
中小企業や個人の方が
対象です。
相談は無料です。

【開設日時】毎月第4水曜日 午前10時から午後4時まで。事前申込みが必要です。

【開設場所 及び申込み先】郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

【電話】024-926-0344

【E-mail】monodukuri@nm.net6.or.jp

※「出前セミナー in企業」を希望される企業については、開催日時等について調整が必要となりますので、事前にご相談ください

産学官連携による人材育成

「Meister's College 2017」(マイスターズ・カレッジ2017)

人材育成事業として、ものづくり中小企業の中核となる技術者の方々を対象に、日本大学工学部・福島県立テクノアカデミー郡山等との産学連携により、平成18年度から継続開催している「Meister's College」(マイスターズ・カレッジ)を実施しました。

今年度は、「イノベーションマスターコース」、「ファンダメンタルテクノロジーコース」の2コースで実施しました。

9月20日には、2コース合同による開講式を開催し、当機構の齋藤 隆 常務理事が「企業の皆さんには職場で体験できない多くの技術をこのマイスターズ・カレッジを通して学んでほしい」と挨拶しました。また、出村克宣 日本大学工学部長、岡部 隆テクノアカデミー郡山校長に祝辞をいただきました。開講式後、日本大学工学部機械工学科教授 柿崎 隆夫 氏による基調講演を行いました。



開講式

ファンダメンタルテクノロジーコース

【受講対象者】金属、機械、精密加工業等に携わる方 【受講者数】6名

～医療機器手仕上げ職人の育成～

このコースはインキュベーションセンター入居企業の株式会社マイステック、その親会社である田中医科器械製作所の協力のもと産学官連携で作成したカリキュラムとなりました。

座学では田中医科器械製作所の金子室長をお招きし、医療機器手仕上げ職人の育成計画を学びました。

実習では、一つの医療器械の一連の作製手順を学ぶカリキュラムとなっており、3D-CADによる製図や汎用機の操作、手仕上げ技術の体験等を学びました。

講座内容	日程	時間	場所	講師
開講式	9/20(水)	18:00~18:30	インキュベーションセンター会議室	日本大学工学部 教授 柿崎 隆夫 氏
基調講演 オリエンテーション		18:30~19:30		
医療機器手仕上げ職人の育成計画	10/11(水)	18:00~19:30	インキュベーションセンター会議室	田中医科器械製作所 取締役営業部長 金子しのぶ 氏
課題製品の製図(3D-CAD) 加工プログラムの作成(CAM) 〔実演実習〕	10/13(金)	18:00~21:00	福島県立 テクノアカデミー郡山	福島県立 テクノアカデミー郡山 成瀬 哲也 氏 阿部 隆政 氏
	10/18(水)	18:00~21:00		
10/20(金)	18:00~21:00			
NC工作機械の操作 (ワイヤーカット + マシニング)〔実演・実習〕	10/27(金)	18:00~21:00		
日本製手術用鋼製器械の特徴(手仕上げ) 〔座学〕	11/ 2(木)	18:00~21:00		
手仕上げ技術の体験(やすりがけ) 〔座学〕	11/ 9(木)			
TIG溶接 〔実演〕	10/10(金)			田中医科器械製作所 技術課長 糸井義範 氏



ファンダメンタルテクノロジーコース

イノベーションマスターコース

【受講対象者】製造業や設備保守の自動化に携わる方 【受講者数】9名

～ロボット・センサ・IoT 技術に関する講座～

このコースは、ロボットやセンサを活用することで生産現場の高度化や整備保守の効率化に役立つ技術を習得できる講座となっており、日本大学工学部機械工学科 武藤 伸洋 教授に基礎的な理論から具体的な利用例などを分かり易く講義いただきました。また、座学中も実際にロボットの操作を体験できるカリキュラムとなりました。

講座内容	日程	時間	場所	講師
開講式	9/20(水)	18:00~18:30	インキュベーションセンター会議室	日本大学工学部 教授 柿崎 隆夫 氏
基調講演 オリエンテーション		18:30~19:30		
ロボットマニピュレーターの基本構成、 運動学について	10/ 3(火)	18:30~20:00	インキュベーションセンター会議室	日本大学工学部 教授 武藤 伸洋 氏
ロボットマニピュレーターの 関節や手先の制御について	10/10(火)	18:30~20:00		
産業用ロボットマニピュレーターの 基本的な教示再生方式の説明	10/17(火)	18:30~20:00		
教示再生方式のシミュレーション	10/24(火)	18:30~20:00		
ロボットマニピュレーターにおける センサの利用例	10/31(火)	18:30~20:00		
ロボットやセンサのネットワークでの 接続例と実演	11/ 7(火)	18:30~20:00		
IoTの基礎知識と利用例	11/14(火)	18:30~20:00		
講座のまとめと 今後の展望・課題について	11/21(火)	18:30~20:00		



イノベーションマスターコース

産学官連携による人材育成

ちびっ子マイスターズ・カレッジ2017 コンクリート探検隊!

【主催】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構・日本大学工学部

【実施日・場所・参加者】

郡山会場:平成29年 7月22日(土) 日本大学工学部70号館・47号館 …………… 児童91名、保護者83名 計174名

須賀川会場:平成29年 7月23日(日) 福島空港公園緑のスポーツエリア・会議室 …………… 児童37名、保護者34名 計71名

【講師】日本大学工学部 教授 岩城 一郎 氏 / 日本大学工学部 准教授 子田 康弘 氏

昨年度から行っている「コンクリート探検隊」は、今回、玉川村・石川町・三春町方面の参加者の利便性のため、新たに出勤講座として、須賀川会場(福島空港公園)を追加して実施しました。

須賀川会場は、児童数30名の募集に対して、2.5倍の75名の応募があるなど、郡山会場も含め、今回も多くの皆様の参加のもとの実施となりました。

講師の日本大学工学部岩城教授からコンクリートの強度や研究内容について、わかりやすく説明を受け、親子工作では、日本大学工学部子田准教授による指導のもと、特殊セメントでキャラクターづくりをし、出来上がったものを手にして皆さん大喜びでした。

さらに、コンクリートの破壊実験を体験し、身の回りの建物や橋梁等を通して、保護者の方も含めコンクリートへの理解を深めることができました。

参加者は、この講座が夏休みの自由研究にも活かすことができると、楽しい一日を過ごされ好評のうちに開催することができました。

※須賀川会場に於いては、コンクリートの破壊実験の様子は映像で学び破壊されたコンクリートを持参し子供たちは手に取り学んでいました。



集合写真(郡山会場)



出村学部長の挨拶



コンクリート流し込み



コンクリート破壊実験



質問に応える岩城先生



子田先生からの説明(須賀川会場)

産学官連携による人材育成

中学生向け医工連携人材育成事業“医療の道を歩む、未来への第一歩”

【主催】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

【共催】日本大学工学部、(一財)ふくしま医療機器産業推進機構、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)

【実施日】平成29年 8月4日(金)

【場所】ふくしま医療機器開発支援センター

【講師】日本大学工学部電気電子工学科 教授 酒谷 薫 氏

(一財)ふくしま医療機器産業推進機構 職員
ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) 社員

【参加者】38名

当機構では、昨年から中学生を対象に、日本大学工学部並びに民間企業の方々を講師に迎え、「医工連携に係る講義」や「模擬手術体験」等を通じて、「医療全般」について理解を深め、福島の将来を担う医工連携人材の育成を図る「中学生向け医工連携人材育成事業」を開催しております。

今年度は、ふくしま医療機器開発支援センターを会場に脳外科医の酒谷教授から「医療工学とは?」と題し医療行為における医療機器の重要性を学習した後、4班に分かれ「手術室見学」、「看護体験」、「内視鏡体験」、「自動縫合機体験」を順に経験しました。

参加した中学生は普段できない体験に目を輝かせ、真剣に、且つとても楽しんで取り組んでいました。



集合写真



手術室見学



自動縫合機体験



内視鏡体験



看護体験



研究開発・事業化支援

平成29年度 産学連携コーディネート業務

郡山市が、『コーディネーターによる潜在的成長力を有する企業の発掘、さらには、高等教育機関、産業支援機関及び公的研究機関が存在する郡山市の強みを生かしたマッチング等により再生可能エネルギー分野及び医療・福祉分野などにおける新たな事業や技術の創出を支援する。』ことを目的に実施した、公募型プロポーザル方式による委託業務を当機構が受託しました。

【発注者】郡山市

【件名】産学連携コーディネート業務

【受託期間】平成29年 6月12日から平成30年 3月23日 まで

【業実績概要】主な実績は以下の通り



産学連携コーディネート業務
金融機関勉強会



産学連携コーディネート業務
産学連携セミナー

1 新事業参入への啓発事業

幅広い産業における要素技術が蓄積されている「ロボット産業」に着目し、郡山地域企業の生産現場における生産効率化・省力化のためのロボットの活用、中堅技術者の技術向上に焦点をあてた「産学連携セミナー」を実施した。

①産学連携セミナー

②日時：平成29年 9月7日(休) 13時～16時30分

③場所：日本大学工学部50周年記念館3階 AV講義室

④講師・テーマ

I: 東京大学 名誉教授 佐藤知正 氏

「ロボット実用化の歴史・特長、それを踏まえた地域からのロボット産業化」

II: 日本大学工学部 教授 武藤伸洋 氏

「日本大学工学部ロボット研究とマイスターズカレッジ2017について」

⑤参加者：88名

2 市内企業の情報収集

企業それぞれの課題を聞き取りするとともに、FREAやふくしま医療機器開発支援センター等との連携や「航空宇宙」「再生可能エネルギー」「医療」「ロボット」産業への参入を考えているかなどのヒアリングを実施した。

①郡山市内企業の情報収集：65社…延べ89回の企業訪問

②金融機関と連携した情報収集

a. 金融機関との情報交換：職員向け勉強会…2回

企業向け勉強会…2回

b. 企業に関する相談：4件(事業評価、取引先の紹介など)

c. 金融機関を介した企業との情報交換：43社

d. 企業訪問：4社(ものづくり企業以外の企業の課題解決)

3 産産・産学等マッチング

郡山市内企業と大学、公的研究機関等とのマッチング

①日本大学工学部とのマッチング：4件

②会津大学とのマッチング：2件

③奥羽大学とのマッチング：1件

④ふくしま医療機器開発支援センターとのマッチング：2件

2 産産・産学等連携事業

新製品の開発・地域課題等を解決するためのプロジェクトチームの形成を推進した。

①「生しいけ自動選別機」開発のためのプロジェクトチーム発足

②「WRS2020の地域展示を目指したロボットの開発・導入」のためのプロジェクトチームの検討



研究開発・事業化支援

福島県再生可能エネルギー一次世代技術開発事業(平成25年度～27年度)

再生可能エネルギーの推進として、農業用施設への再エネ利用システムの実用化に、当機構の企業が連携し、平成25年度から取り組みました。

【連携企業】株式会社内藤工業所

株式会社リゾーム

エスケー電子工業株式会社

【技術支援】日本大学

【関連機関】福島県産業創出課

【場 所】岩瀬牧場内

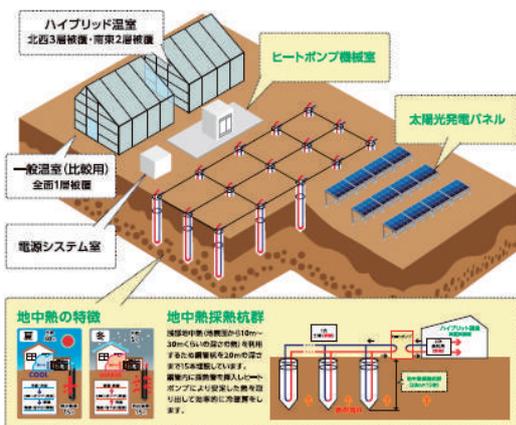
浅部地中熱で施設園芸の省エネ



農業施設用ハイブリッド再エネシステムの研究施設

実施主体 公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 協賛大学 日本大学

再生可能エネルギー「浅部地中熱・太陽熱」での地温保持・室温調節を独自開発の「熱源・電源制御」を活用して行なう「ハイブリッド温室」を、次世代農業へ活用する研究を目的とした施設です。



研究成果

- ① ハイブリッド温室は一般温室と比較して断熱性が高いため保温効果があり、夜間も室温低下が抑えられます。このため省エネにつながります。
- ② 冬季のハイブリッド温室内の土壌温度も、保温・蓄熱効果により一般温室より高いことがわかりました。
- ③ 地中熱は、暖房と冷房の両方に利用できます。温室内全体を冷却することはできませんが、機械冷却などの間接冷却に効果があります。
- ④ 地中熱システムはランニングコストが安く、ハイブリッド温室と組み合わせることで初期コストも抑えることができます。
- ⑤ 実験の結果、地中熱と組み合わせたハイブリッド温室は一般温室より20～30%以上の省エネ効果があることがわかりました。(この値は、経過条件により変動します)

平成29年

5月 日大、(株)内藤工業所と施設活用検討会を実施。

ハーブ生産者と実験施設の活用検討(ハーブの育苗実験)。

6月 椎茸生産者と地中熱利用に関する交流会を開催。

7月 ハーブ育苗実験使用開始。地中熱活用の生産者と温室内の環境制御について意見交換。

10月 ハーブ生産者と冬季の加温実験にも使用することを合意。

平成30年

3月 ハーブ生産者による加温実験とハーブ育苗実験実施。



企業連携の促進

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議



戦略的アライアンス形成会議は、郡山地域テクノポリス圏域などの中小製造業者が保有する技術力、設備、営業力等の潜在能力を戦略的に活用する組織(アライアンス)を構築することによって、高度な研究開発、新しい受発注及び各種産業振興支援施策の担い手となり、地域産業の活性化を図ることを目的としています。

平成30年3月末現在、56社が参画しています。

平成29年度は、受発注の推進に向けた活動を強化し新たに企業製品発表会(プレゼン会)の拡充と当形成会議を広く知ってもらうため、特別講演会を開催しました。



多くの方に参加いただきました(特別講演会)

事業体系

形成会議

役員会

事務局

特別講演会

研究開発推進部会

■イノベーションテクノロジーフォーラム

コーディネーター: 日本大学工学部機械工学科 教授 柿崎 隆夫 氏

ボードメンバー企業: 東成イービー東北株式会社 / ひさき設計株式会社
株式会社日東紡テクノ / 林精器製造株式会社

■健康医療福祉産業創生フォーラム

コーディネーター: 日本大学工学部電気電子工学科 教授 酒谷 薫 氏

ボードメンバー企業: 株式会社ニチオン / アルファ電子株式会社 / 日本全業工業株式会社
株式会社エヌジェイアイ / 東北リズム株式会社 / 有限会社エスグ

■サステナブル地域づくりフォーラム

コーディネーター: 日本大学工学部土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

ボードメンバー企業: 株式会社ユアテック 須賀川営業所 / 株式会社あおい
株式会社アーバン設計 / 陸奥テックコンサルタント株式会社

受発注推進部会

■企業製品・研究成果等 発表会(プレゼン会)

研究開発プロジェクト

■生しいたけ自動選別機研究開発プロジェクト: 林精器製造株式会社 / 日本大学工学部 / JA全農福島

事業方針

- ①会員企業相互の強みを生かしたアライアンス(連携、協調)を強化することにより、新たに付加価値の創出を図るなど、技術力の向上と産業振興を目指す。
- ②会員企業の技術連携を図り、高度技術や複合技術を必要とする難度の高い特注品・試作品・完成品等を含む受注の確保を目指す。
- ③会員企業の情報交換により、新製品・新商品の開発、ソフトウェアの開発、販売戦略などの成果実現を目指し、新事業の創出と活性化を図る。
- ④会員企業のアライアンス活動を通して、地域にアライアンス形成会議の知名度アップを図る。

※当形成会議への入会は随時受け付けています。詳しくは、テクノポリス推進機構事務局までお問い合わせください。

アライアンス形成会議 役員

役員	氏名	企業名	会員役職	役員	氏名	企業名	会員役職
最高顧問	高木 茂保	エスケー電子工業(株)	取締役相談役	委員	森尾 和衛	日本全業工業(株)	常務取締役
会長	林 明博	林精器製造(株)	代表取締役社長	委員	高橋 晃一	(株)アーバン設計	代表取締役
副会長	吉田 慶太	ひさき設計(株)	代表取締役	委員	大槻 努	大槻電気通信(株)	代表取締役
委員	吉田 俊夫	(株)古城光科学	取締役会長	委員	高畠 伸幸	(有)エスグ	代表取締役
委員	水上 哲夫	(有)ぱすわーど	代表取締役	監査	吾妻 柄穂	日ノ出工機(株)	代表取締役
委員	桑原 勝幸	(株)リゾーム	代表取締役社長	監査	遠藤 正成	(株)北斗型枠製作所	代表取締役
委員	神田 雅彦	神田産業(株)	代表取締役				

平成30年3月31日現在

1 会議・交流会等の開催

(1) 役員会

- 【開催日】平成29年 5月17日(水)
平成29年 8月 9日(水)
平成29年10月11日(水)
平成30年 3月 6日(火)
- 【会 場】ものづくりインキュベーションセンターほか
- 【参加者】当形成会議役員
- 【内 容】・28年度事業報告及び収支決算報告について
・29年度事業計画(案)及び予算(案)について
・29年度役員(案)について
・新規会員企業について ほか



役員会

(2) 総会・交流会

- 【開催日】平成29年 6月6日(火)
- 【会 場】ホテルハマツ
- 【参加者】24名
- 【内 容】・28年度事業報告及び収支決算報告について
・29年度事業計画(案)及び予算(案)について
・29年度役員について



総会

(3) 特別講演会

- 【開催日】平成30年 3月6日(火) 【会 場】ホテルハマツ 【参加者】 70名
- 【内 容】当形成会議を広く知ってもらうため、会員以外も聴講できる講演会を開催しました。
- 講師には、社会的ロボティクス、関係論的なロボティクスと呼ばれる、人との関わりの中での認知発達機構の解明を狙いとした次世代ロボットの研究を進めている豊橋技術科学大学教授で同大学「人間・ロボット共生リサーチセンター」センター長の岡田美智男氏をお招きし、ご講演いただきました。

演 題 〈弱いロボット〉的思考のすすめ

～なし崩しの機能追加主義からの脱却にむけて～

講 師 豊橋技術科学大学 教授 同大学人間・ロボット共生リサーチセンター
センター長 岡田 美智男 氏



特別講演会

2 受発注推進部会

受発注推進部会は、会員企業の有する技術、手法、情報、経験などを認識することで、アライアンス(企業連携)や受発注を推進するための部会です。好評の企業製品等発表会は、会員企業のみならず、高等教育機関や産業支援機関等からもプレゼンテーションがありました。

(1) 第5回 企業製品・研究成果等発表会(プレゼン会)

- 【開催日】平成29年 6月6日(火)
- 【会 場】ホテルハマツ
- 【参加者】40名
- 【内 容】・ものづくり系マッチングサービス
「Linkers(リンカーズ)」について
リンカーズ株式会社 プロジェクトマネージャー … 藤井 彩子 氏
・「Linkers」を活用して
株式会社VIBE 経営企画室兼第1事業部 …… 亀井 丈嗣 氏
・会員企業による企業紹介
株式会社タスク 設計部部長 …………… 菅沼 智仁 氏

多くの方が参加した企業製品・研究成果等発表会
(第5回企業製品等発表会)

(2) 第6回 企業製品・研究成果等発表会(プレゼン会)

- 【開催日】平成29年 10月11日(水)
- 【会 場】日本大学工学部 70号館3階7036教室
- 【参加者】41名
- 【内 容】・東京電機大学産学連携の取り組み
東京電機大学研究推進社会連携センター
産官学交流センター…………… 齋藤 裕也 氏



熊本からお越しいただいた不二ライトメタル株式会社のプレゼン

- ・特別企業プレゼン
不二ライトメタル株式会社
取締役技術本部長……………井上 正士 氏
- ・会員企業による企業紹介
大槻電気通信株式会社
代表取締役……………大槻 努 氏
株式会社システムデザインワークス
代表取締役……………田代 寿樹 氏



素材の違いによる重さ比較
(不二ライトメタル株式会社)



新規会員企業が自社PR
(大槻電気通信株式会社)

3 研究開発推進部会

研究開発推進部会は、大学等との連携により技術シーズの紹介・提案、企業ニーズの大学等での検証、ニーズとシーズのマッチングによる具体的な産学協同研究開発案件の掘り起こしを目的に活動しています。

平成29年度は、日本大学工学部教授をコーディネーターに、「サステナブル地域づくりフォーラム」と「健康医療福祉産業創生フォーラム」の研究会が開催されました。

サステナブル地域づくりフォーラム

地域住民の暮らしを支える社会インフラは、高度経済成長期に集中整備された道路や橋、上下水道施設、学校や庁舎等の老朽化が深刻化しています。また、中山間地では限界集落や災害時の孤立といった問題が顕在化することが予想されます。このような背景のもと、このフォーラムでは産学官が密接に連携しながら、地域住民とともに地域の強みや再生可能エネルギーを生かした持続可能で、自立した地域づくりを進めることを目的としています。



岩城教授による話題提供



復興交流館・蔵改修の敷地を視察

第4回 サステナブル地域づくりフォーラム ～持続可能で自立した地域づくりを目指して～

【担当コーディネーター】日本大学工学部 教授 岩城 一郎 氏

【開催日】平成29年 9月26日(火)12:30～ 【場 所】葛尾村 【参加者】23名

【内 容】

- ・コーディネーターからの話題提供及び意見交換(葛尾村役場)

テーマ 産官学民による連携活動の具現化に向けて

- 1 包括協定～交流館・蔵計画～サークルミーティング～ワークショップ構想

講師 日本大学工学部 建築学科 准教授……浦部 智義 氏

- 2 葛尾村のフィールドを活かしてI～農・水・緑～

講師 日本大学工学部 土木工学科 教授……中野 和典 氏

- 3 葛尾村のフィールドを活かしてII～防災等～

講師 日本大学工学部 土木工学科 准教授…朝岡 良浩 氏

- 4 ドローンに関する協定と今後の展開

講師 日本大学工学部 土木工学科 教授……岩城 一郎 氏

- ・復興交流館・蔵改修の敷地と現状の視察
- ・ドローンの実演(葛尾中学校)



ドローンの説明を受ける参加者



上空からの記念撮影

健康医療福祉産業創生フォーラム

昨年度実施した、「次世代ヘルスケアシステムによる健康・予防の実現に向けて～郡山のモデル推進について～」のフォーラムを受け、今回は、ロボット・AIなどの先端技術による健康長寿を可能にする地域実装アプローチの観点からフォーラムを開催した。

第5回 健康医療福祉産業創生フォーラム

【担当コーディネーター】日本大学工学部電気電子工学科 教授 酒谷 薫 氏

【開催日】平成29年 10月20日(金) 13:30～16:00

【会 場】日本大学工学部次世代工学技術研究センター

【参加者】60名

【内 容】『ロボットとAIなどの先端技術による健康長寿』

第1部:基調講演

講演1 「医療福祉ロボットの現状と未来」

講師 東京大学名誉教授 佐藤 知正 氏

講演2 「IoTヘルスケアによるデジタルイノベーション」

講師 アクセンチュア株式会社イノベーションセンター長
中村 彰二郎 氏

第2部:パネルディスカッション

パネリスト 酒谷 薫教授及び講師2名



酒谷教授によるフォーラム紹介



佐藤名誉教授による講演



中村アクセンチュア・センター長による講演

企業連携の促進

須賀川方部アドホック研究会

会員相互の技術、情報などの交流と幅広い研究を通して、新技術、新商品、新事業の開発と新市場の開拓を促進するとともに、生産・販売面での相互協力を促進し、会員企業の成長発展と地域産業の振興に貢献することを目的に活動しています。



11月ベカメックスの視察を終えて(海外視察)

平成29年度 事業内容

会員数 28名(平成30年4月末 現在)

会長 神田雅彦(神田産業(株) 代表取締役)

4月 定期総会	JETROホーチミン事務所
5月 例会 分科会設立検討会	ベカメックス本社ビル ほか
6月 例会 視察研修:東北電力(株)原町火力発電所	12月 例会 海外視察研修報告
7月 例会 視察研修: ・(株)ナショナルマリンプラスチック(石川町) ・大野農園(株)(石川町)	1月 例会 青森県中南地域県民局主催 「ものづくり企業カイゼンネットワーク研修会」の参加者との交流会
8月 例会 ドローンに関する講習会 【講師】(株)スペースワン 【会場】ブルースタジアム	2月 例会 須賀川市企業間ネットワークセミナー2018への参加
9月 例会 視察研修:有限会社エスク(矢吹町)	3月 例会 視察研修(東京理科大学)及び平成30年度 事業計画意見交換
10月 例会 講演会【テーマ】白河素形材ヴァレーの取り組みについて 【講師】株式会社キャスト 常務取締役 若林 誠 氏	6月 東北電力原町火力発電所視察
11月 例会 海外視察研修(ベトナム・ホーチミン)	11月 JETROホーチミン事務所



6月 東北電力原町火力発電所視察



11月 JETROホーチミン事務所

ICTを活用した産業の振興

郡山オープンイノベーション(KOI)会議

郡山市、会津大学、郡山地域テクノポリス推進機構の三者による包括連携協定にもとづき、「航空機産業」や「ロボット産業」をテーマに、企業の皆様と意見交換を行いました。

第4回 郡山オープンイノベーション(KOI)会議

【日時】平成29年 6月28日(火) 15:00~17:00

【場所】郡山市役所

- (1)「航空機産業とIT」まとめ
【講師】会津大学 理事 岩瀬 次郎 氏
- (2)郡山圏域における産産・産産連携の取組について
- (3)会津大学の最近の取組とシーズ紹介
- (4)意見交換会

参加者 34名

第4回 KOI会議



第5回 郡山オープンイノベーション(KOI)会議

【日時】平成29年 12月19日(火) 14:00~16:30

【場所】会津大学 LICTiA2階 カンファレンススペース

- (1)学内視察
- (2)「会津大学の概要—先端ICTラボを中核とした産産連携活動」
【講師】会津大学 理事 岩瀬 次郎 氏
- (3)「会津大学産産ロボット技術開発支援事業ご紹介」について
【講師】会津大学 教授 屋代 真 氏
- (4)意見交換会

参加者 41名

第5回 KOI会議 岩瀬理事の講演



受発注機会の創出

郡山地域ものづくり受発注商談会

【主催】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 【共催】郡山商工会議所 【協賛】(株)東邦銀行
【実施日】平成29年12月1日(金) 【実施場所】郡山商工会議所 【参加人員】発注企業 14社/受注企業 31社
郡山地域におけるものづくり企業の「新規取引先開拓」「ビジネスマッチングの機会創出」を図るため、「郡山地域ものづくり受発注商談会」を開催しました。

予約商談やフリー商談、情報交換を行っていただき、販路拡大に向けた積極的な意見交換が行われました。商談数は116件、うち「商談成立」は12件、また「今後商談を進めていく予定がある」は17件の結果となりました。

また、アンケートからは、72%の参加企業が期待通りの面談ができたとの回答で、「マッチングの精度が高く期待以上だった」「効率よく商談ができた」「発注企業を増やして欲しい」などのご意見をいただきました。



商談風景

受発注機会の創出

ICTを活用した商談会(Linkers)

発注案件に係る紹介企業数:23件
(平成29年4月~平成30年3月)

平成28年12月に当機構とリンカーズ株式会社が覚書を締結し、当機構が大手発注企業と地元受注企業との懸け橋になるコーディネーターとして登録されました。リンカーズを通じた大手発注企業からの具体的な技術探索依頼に対して、当機構の各コーディネーターが圏域企業の技術等の目利きを行い、受注候補として推薦し、新規取引先の成立を支援しております。



郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会は、(公財)郡山地域テクノポリス推進機構や郡山高度情報化システム研究会などと連携して、テクノポリス圏域内のICT化支援、高度情報化の推進を図るため、圏域内市町村、各種団体・企業、大学・情報系高校・専門学校等の協力のもとさまざまな事業を行っています。平成29年度の主な事業は次の通りです。

ICT交流事業

ニュー・コメ交流会&セミナー2018

AI(人工知能)、マシンラーニング(機械学習)、ディープラーニング(深層学習)、ビッグデータ、AI産業の将来像についてセミナーを開催しました。

【開催日時】平成30年 3月16日(金) 15:30~17:30

【開催会場】郡山商工会議所会館 6階「中ホールB」

【参加者数】31名

【講師】(株)スイッチスマイル 代表取締役・CEO 長橋 大蔵 氏

【共催】郡山市、(公財)郡山地域テクノポリス推進機構



セミナー

情報化人材育成・研修事業

ちびっ子マイスターズ・カレッジ2017「コンピューター動かし隊!」

2020年度から小中学校で行われるプログラミング授業を見据えて、子供たちの論理的思考力を養い将来の高度ICT人材育成を目的に、テクノポリス圏域内小学校高学年(3~6年生)を対象に実施しました。今回も定員を大きく上回る申し込みがあったため、開催会場並びに回数等を増やして開催しました。

【開催日時・場所・参加者(合計 136名)】

(郡山会場/郡山商工会議所会館):平成29年 7月22日(土)午前(30名)、午後(29名)

(須賀川会場/須賀川市産業会館):平成29年 7月23日(日)午前(18名)、午後(20名)

(鏡石会場/鏡石町図書館):平成29年 7月29日(土)午前(20名)

(玉川・石川・三春会場/福島空港):平成29年 7月30日(日)午前(19名)

【講師】(株)ブレインバージョン 代表取締役 菅家 元志 他2名

【アシスト】郡山北工高校、清陵情報高校及びWiz国際情報工科自動車大学の学生

【使用教材】Scratch(スクラッチ)「子供向け教育用プログラミング言語」

【主催】郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

【共催】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

【協力】ふくしまICT利活用推進協議会、福島県立郡山北工業高等学校、福島県立清陵情報高等学校、Wiz国際情報工科自動車大学校



郡山会場



須賀川会場

Connect2017 in Koriyama, with UDC(ハッカソン)

プログラミング技術の向上やコミュニケーション能力を高めることを目的に、「ITやオープンデータを活用して、地域の課題を解決するアプリケーションを作ろう」をテーマに、1泊2日の合宿形式でアプリを開発するハッカソンを開催しました。

※ハッカソンとは、「ハック(アプリケーション開発)」と「マラソン」を合わせた造語

【開催日時】平成29年11月11日(土)~12日(日)

【開催会場】郡山市青少年会館

【参加者数】91名(12チーム)

市内ICT関連企業や県立郡山商業高等学校、県立清陵情報高等学校、県立テクノアカデミー郡山校、Wiz国際情報工科自動車大学校 等

【インプットセミナー講師】郡山市 政策開発部 ソーシャルメディア推進課 主査 馬場 守吉 氏
日本マイクロソフト株式会社 パートナー事業本部 物江 修 氏

【VR&ドローン体験学習講師】FSGカレッジリーグ 新環境事業室 室長 内田 章 氏
Wiz国際情報工科自動車大学校 教務部 ゲーム分野 市川 英将 氏

【運営進行】(株)福島情報処理センター 大久保 仁 氏(エフスタ代表)

国際航業(株) 営業本部 和田 陽一 氏(UDC東北地区メンター)

【運営協力】ふくしま IOTビジネス共創ラボ/エフスタ!! /Wiz国際情報工科自動車大学校/日本マイクロソフト株式会社

【入賞チーム名およびアプリケーション名】

郡山市長賞 エフスタ!! /ティスタ!! ~Daily Starter~

郡山高度情報化システム研究会賞 FIC「FICwithA」/スマホで実現!郡山クリームボックススタンプラリー

Connect2017 in Koriyama(ニュー・コメ)賞 テクノアカデミー「すがけん」/不用品譲渡システム:あげちゃう

【関連事業】県内からこれらを含む5作品がUDC(アーバンデータチャレンジ)にエントリーされました。

※UDC:オープンデータや地理空間情報を活用し、地域の課題解決を目的としたアプリケーションやサービスなどの作品を募集し、全国規模で行われるコンテスト



多くの皆さんが参加しました

ICT高度利用推進事業

情報セキュリティセミナー

変化の激しい情報セキュリティ環境変化に対応するため、企業を襲うサイバー攻撃の手口や対策について学ぶセミナーを開催しました。

【開催日時】平成29年 8月23日(水) 15:00~16:30

【開催会場】郡山商工会議所会館 6階「中ホール」

【参加者数】60名

【演 題】「企業を襲うサイバー脅威 ~その手口と対策~」

【講 師】(株)ラック 事業企画推進室 理事 長谷川 長一 氏(東京電機大学 国際化サイバーセキュリティ学特別コース講師)

【共 催】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構、東京電機大学

総会・監査会・ボードメンバー会議

・監査会

【開催日時】平成29年 4月19日(水)

【開催会場】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 会議室

【議 題】平成28年度 事業報告・一般会計決算の監査

・総 会

【開催日時】平成29年 4月27日(木)

【開催会場】INC「会議室」

【議 題】平成28年度 事業報告・収支決算、平成29年度 事業計画(案)・収支予算(案)、ボードメンバー 委員補充選任

・第1回 ボードメンバー会議

【開催日時】平成29年 5月11日(木)

【開催会場】INC「会議室」

【議 題】総会報告、ボードメンバー委員補充選任
平成29年度 事業計画

・第2回 ボードメンバー会議

【開催日時】平成29年 9月13日(水)

【開催会場】INC「会議室」

【議 題】Connect2017「ハッカソン」、ちびっこマイスターズ
カレッジ「コンピューター動かし隊」

・第3回 ボードメンバー会議

【開催日時】平成30年 1月24日(水)

【開催会場】INC「会議室」

【議 題】ちびっこマイスターズカレッジ「コンピューター動かし隊」、Connect2017「ハッカソン」報告、平成30年度 事業計画(案)について意見交換

平成30年度の主な事業・イベント

平成30年度は、AI講座の開催や小学生を対象としたプログラミング教室、中学生を対象としたロボット教室の実施、ICT関連企業と連携した就職支援活動を実施して参ります。

5月

・平成30年度 総会(5/7)

9月

・AIセミナー&ロボット・ラボ見学
(インキュベーションセンター)

11月

・Connect 2018 ハッカソン
(11/10~11 郡山市青少年会館)

6月

・第1回 ボードメンバー会議

10月

・第2回ボードメンバー会議

1月

・第3回ボードメンバー会議

8月

・ちびっこコンピューター動かし隊
郡山会場:8月5日 / 三春会場:8月6日 / 須賀川会場:8月7日
鏡石会場:8月8日 / 玉川・石川会場:8月8日

2月

・AIセミナー&交流会

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

イベントへの出展

県内外から多くの来場者が見込まれるイベントに出展し、当機構が取り組む事業紹介や、ものづくりインキュベーションセンターに入居する企業の成果発表の場として活用しました。

出展イベント (会場:ビッグパレットふくしま)

こおりやま産業博

【開催日】平成29年 10月6日(金)~8日(日)
【来場者】21,921人

REIFふくしま

【開催日】平成29年 11月8日(水)、9日(木)
【来場者】6,985人

メディカルクリエーションふくしま

【開催日】平成29年 10月25日(水)、26日(木)
【来場者】3,900人

ロボットフェスタふくしま

【開催日】平成29年 11月22日(水)、23日(木)
【来場者】8,400人

また、福島県東京事務所主催により初めて開催された、機械振興会館地下1階を会場とする「福島県ものづくりフェア」(ポスター・パンフレット掲示)に出展し、当機構業務案内や、圏域市町村産業施策を紹介しました。

【開催日】平成30年 1月24日(水)~30日(日)

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

平成29年度 理事会等の開催報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

理事会

第1回 【日時】平成29年 6月7日(水)
【場所】インキュベーションセンター
【内容】平成28年度 事業報告及び決算ほか

第2回 【日時】平成29年 7月11日(火)
【場所】決議の省略の方法による開催
【内容】評議員会招集(監事補充選任)

第3回 【日時】平成30年 3月20日(火)
【場所】インキュベーションセンター
【内容】平成29年度 業務執行状況
平成29年度 補正予算
平成30年度 事業計画及び当初予算
評議員会招集(役員補充選任)

監査会

【日時】平成29年 5月24日(水)
【場所】ピッグパレットふくしま
【内容】平成28年度 事業及び決算

評議員会

第1回 【日時】平成29年 5月8日(月)
【場所】決議の省略の方法による開催
【内容】補充評議員5名及び補充理事2名の選任

第2回 【日時】平成29年 6月23日(金)
(定時)【場所】インキュベーションセンター
【内容】平成28年度 事業報告及び決算
平成29年度 事業計画及び収支予算

第3回 【日時】平成29年 7月19日(水)
【場所】決議の省略の方法による開催
【内容】補充監事1名の選任

平成30年度の主な事業・イベント

5月

- ・助成事業第1回公募(4/2～5/31)
- ・インキュベーションセンター
入居者審査委員会(5月上旬)
- ・アライアンス役員会(5/17)

6月

- ・第1回理事会(6/7)
- ・アライアンス総会(6/6)
- ・アライアンス企業製品・研究成果等
発表会(6/6)
- ・定時評議員会(6/28)
- ・郡山地域産業支援機関連絡会議

7月

- ・ちびっこマイスターズ・カレッジ(7/21)
- ・技術等審査委員会(7月下旬)
- ・サステナブル地域づくりフォーラム

8月

- ・【新規】ロボットラボ開設(8/28～9/28)
- ・ロボットテクノロジーフォーラム
- ・中学生医工連携人材育成事業(8月上旬)
- ・マイスターズ・カレッジ受講生募集
- ・インキュベーションセンター入居者
審査委員会

9月

- ・アライアンス・企業製品・研究成果等発表会
- ・マイスターズ・カレッジ2018
(9月中旬～11月中旬)

10月

- ・助成事業 第2回公募(10/1～11/30)
※公募しない場合あり。
- ・健康医療福祉産業創生フォーラム
- ・こおりやま産業博(10/5～7)
- ・メディカルクリエーションふくしま(10/18・19)

11月

- ・第19回産学官連携フォーラム
- ・REIFふくしま(11/7・8)
- ・ロボットフェスタふくしま(11/22・23)

12月

- ・理事会(12月上旬)
- ・アライアンス企業製品・研究成果等発表会

1月

- ・技術等審査委員会 ※第2回公募時

2月

- ・インキュベーションセンター入居者
審査委員会

3月

- ・理事会
- ・アライアンス特別講演会

会津大学、郡山市、当機構の3者による「郡山オープンイノベーション会議(KOI会議)」も実施してまいります。その他、須賀川方部アドホック研究会では、毎月定例会を開催します。



役員・職員等の紹介



公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 役員

【任期：平成28年6月21日～平成30年6月定時評議員会】 平成30年 5月8日現在(順不同・敬称略)

理事長	滝田 康雄	郡山地域テクノポリス推進協議会会長 郡山商工会議所会頭
常務理事	齋藤 隆	郡山商工会議所常務理事
理事	福井 邦顕	日本全業工業(株)代表取締役会長
理事	渋谷 重二	郡山地区商工会広域協議会会長 富久山町商工会長
理事	岩谷 幸雄	郡山地域テクノポリス推進協議会副会長 玉川村商工会長
理事	出村 克宣	日本大学工学部長
理事	二見 亮弘	福島大学共生システム理工学類長
理事	根本 博	鏡石町産業課長
理事	添田 祐司	石川町産業振興課長
理事	須田 潤一	玉川村産業振興課長
監事	三浦 謙一	(株)大東銀行常務取締役本店営業部長
監事	新野 徳秋	三春町産業課長

公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 評議員

【任期：平成26年6月24日～平成30年6月定時評議員会】 平成30年 5月8日現在(順不同・敬称略)

評議員	伊藤 清郷	郡山商工会議所副会頭
評議員	山田 慶太	郡山商工会議所工業部会長
評議員	林 明博	須賀川商工会議所工業部会長
評議員	柿崎 隆夫	日本大学工学部工学研究科次長
評議員	須藤 英穂	(株)東邦銀行常務取締役郡山営業部長
評議員	後藤 宏	東北電力(株)郡山営業所長
評議員	鈴木 清昭	(公財)福島県産業振興センター理事長
評議員	新関 勝造	福島県商工労働部 再生可能エネルギー産業推進監兼次長
評議員	石堂 伸二	須賀川市産業部長
評議員	村田 和哉	郡山市産業観光部次長

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会委員

平成30年5月7日現在(順不同・敬称略)

会長	滝田 康雄	(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 理事長
副会長	出村 克宣	日本大学工学部長
副会長	小暮 憲一	郡山商工会議所 情報文化部会長
委員	渡邊 達雄	須賀川商工会議所 会頭
委員	渋谷 重二	郡山地区商工会広域協議会会長
委員	阿部 晃造	郡山商工会議所 工業委員長
委員	大張 高己	(株)NTT東日本福島支店 郡山営業支店長
委員	酒井 良信	(株)エフコム 代表取締役会長
委員	水上 哲夫	(株)ばすわーど 代表取締役
委員	力丸 忠博	福島県企画調整部 情報政策課長
委員	穴戸 陽介	福島県商工労働部 産業創出課長
委員	渡部 修	福島県ハイテクプラザ副所長
委員	山本 晃史	郡山市政策開発部長
委員	石堂 伸二	須賀川市産業部長
委員	柳沼 英夫	鏡石町総務課長
委員	齋藤 隆	(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 常務理事
監事	藤橋 桂市	郡山市産業観光部長
監事	霜鳥 勉	郡山商工会議所 開発事業部長

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 ボードメンバー

平成30年5月7日現在(順不同・敬称略)

大張 高己	(株)NTT東日本 福島支店 郡山営業支店長
水上 哲夫	(株)ばすわーど 代表取締役
小林 秀明	(株)福島情報処理センター 郡山システム部 部長
二瓶 幸恵	(株)エフコム サービスビジネス本部 本部長
新藤 純也	(株)コンピューターシステムハウス マネージャー
和田 秀勝	Wiz国際情報工科大学自動車大学校 学校長
大槻 努	大槻電気通信(株) 代表取締役
沼田 克己	プリマックス(株) 会津営業所 所長
佐藤 賢二	エリア・マークス(株) 代表取締役
鈴木 朱美	福島リビング新聞社 編集制作本部 副本部長(統括編集長)
菅家 元志	(株)プレインペーシジョン 代表取締役社長
廣田 進一	(株)東邦銀行 郡山営業部 上席副部長
渡辺 豊	郡山市 政策開発部 ソーシャルメディア推進課 課長
鈴木 伸生	須賀川市産業部 商工労働課 課長
柳沼 英夫	鏡石町総務課 課長

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構・事務局

平成30年 4月1日現在

常務理事	齋藤 隆	郡山商工会議所出向
事務局長兼事業部長	鈴木 秀明	郡山商工会議所出向
事務局次長兼総務部長	喜古 克広	福島県OB
企画管理課長	矢吹 貴志	郡山市派遣
技術振興課長	関根 隆仁	須賀川市派遣
技術コーディネーター	佐藤 喜幸	管理員
技術コーディネーター	池浦 清一	
技術コーディネーター	佐藤 正弘	
技術コーディネーター	吉田 裕二	インキュベーションマネージャー
技術コーディネーター	井上 明博	
技術コーディネーター	筋内 一男	
技術コーディネーター	永倉 文芳	
総務担当	鈴木 琴子	
情報化支援担当	久保田江美	

ACCESS

- 福島空港から郡山駅まで(シャトルバスで約35分)
- 郡山駅から南へ3km(車で約10分、バスで約20分)
- 東北自動車道・郡山南インターから東へ約6km(車で約10分)

お問い合わせ／ご相談はお気軽にご連絡ください

編集／発行 公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会



〒963-0115 福島県郡山市南二丁目52番地 ビッグバレットふくしま3階
TEL.024-947-4400/FAX.024-947-4475
E-mail techno@nm.net6.or.jp URL <http://www.techno-media.net6.or.jp/>
【Facebookページ】<https://www.facebook.com/technoandnmc>
【メールマガジン登録】
<http://www.techno-media.net6.or.jp/magazine/index.php>



この印刷物は、FSC®認証紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。紙へリサイクル可。